

河川砂防技術研究開発公募 地域課題分野(砂防) 平成26年度採択テーマ 中間評価結果

テーマおよび概要		提案者名	中間評価コメント
テーマ	早川流域における降雨と地盤の保水・透水特性に着目した土砂流出特性に関する研究	山梨大学大学院 荒木 功平	現地調査結果を実際の現象の機構解明にどう結びつけていくか整理のうえ、研究を進めること。
概要	早川流域で現地調査、現地土砂の室内試験等を行い、土の保水・透水性を明らかにし、降雨に伴う土砂流出(崩壊)特性の把握と監視手法を開発・研究する。		
テーマ	同時多発的土石流発生メカニズムとリスク評価手法の検討	国立研究開発法人 土木研究所 水野 秀明	いくつかの課題の統合化を図るとともに、タンクモデルの結果について、リスク評価手法にどう結びつけていくかを念頭に研究を進めること。
概要	現地観測及び斜面崩壊危険度評価等により、同時多発的な表層崩壊・土石流が発生する条件と氾濫被害を予測するための手法を検討する。		
テーマ	火山と地すべり地におけるUAV搭載型LP計測による地表変動評価手法の開発	北海道大学大学院 笠井 美青	地すべり地の移動量に関するデータとLP計測データとの照合とその精度向上に努めること。
概要	火山と地すべり地を対象にUAV搭載型LPによる定期計測を実施し、UAVを活用した地表変動評価手法の開発と調査計画の提案を行う。		
テーマ	土壌水分と地表面変位の同時計測に基づく斜面崩壊発生予測手法の開発	高知大学 笹原 克夫	実験結果を実斜面での現象にどう結びつけるかを念頭に、研究を進めること。
概要	土砂災害警戒区域などにおける土砂災害に対する警戒避難体制の構築のために、斜面内の土壌水分量と地表面変位(変形)の同時計測に基づいた、降雨による斜面崩壊発生時刻の予測手法を開発する。		
テーマ	効果的な防災計画と連関させるべき科学的知見および地域文化の再発見・発信とこれらを踏まえた砂防総合対策技術の開発	名古屋大学大学院 田中 隆文	多岐にわたる検討内容について、総合化、体系化を図りながら研究を進めること。
概要	地域の地勢学的特性、土地利用・災害履歴、地域文化、伝承などを踏まえた防災啓発周知手法を開発する。		
テーマ	焼岳における融雪型火山泥流の危険度評価法の確立	京都大学 堤 大三	実現象への適合性を確認するとともに、泥流のシミュレーション結果における条件設定を整理し、泥流の発生危険度評価までの道筋を明確にしなが、研究を進めること。
概要	融雪型火山泥流の発生機構を明らかにし、焼岳における泥流挙動解析に基づいた危険度評価からハザードマップ作成のための情報提供を行う。		